

みんなごとのまちづくり推進事業 まちづくり・お宝バンク 市民協働推進コーディネーター進捗報告

Vol.04
平成29年
4月



コーディネーター：日高由紀

【京都市との協働編】

保健福祉局障害保健福祉推進室主催で毎年開催している「ユニバーサルデザイン京都フォーラム」に、ユニバーサルデザインの推進に取り組むお宝バンク取組提案団体が登壇しました。

3/22
開催

障害保健福祉推進室「ユニバーサルデザイン(UD)京都フォーラム2017」
今年のテーマ：UDで外出を楽しむ

お宝No.191 京楽ラクプロジェクト

お宝No.203 ALIZE

お宝No.189 京都光華女子大学・短期大学部 ユニバーサルデザイン研究会

歩くまち京都推進室



「ユニバーサルデザイン京都フォーラム2017」第1部トークセッションに、まちづくり・お宝バンクの取組提案団体が登壇しました。

はじめに、進行役の杉崎和久氏（法政大学教授）から、本フォーラムがユニバーサルデザインの視点から会場設置の配慮（要訳筆記、手話、磁気ループ）を持っている基本的な点を説明、いくつか会場と登壇者に質問するなどして、登壇者も話をしやすいように場の雰囲気調整してくださいました。

障害の有無や国籍の違いに捉われず、京都に多様な人たちの接点をつくる活動を紹介【NPO法人ALIZE：中村周平さん、山本ALEX辰馬さん】

車椅子ユーザーの中村さんの体験と、（日本人とジャマイカ人の親を持つ）山本さんに対する周囲の反応する部分があるという“あるある話”から始まり、障害の有無に関係なく、みんなが車椅子を使って楽しむ「車椅子アメフト」の紹介や、障害をもつ人がクラブでDJ・ライブパフォーマンスを提供して楽しむALIZEの活動を紹介しました。

会場からは、「障害者の社会イメージを覆す取組の話が聞けてよかった」「障害のあるなしにかかわらず楽しめることを目指している人たちがいることが新鮮だった」「よくある話とは違う、視点がいつもとは違った『ユニバーサルデザイン』の話だった」等の声が寄せられました。

「みんなにやさしいKYOTOユニバーサルデザイン ガイドマップ」完成披露

京都光華女子大学・短期大学ユニバーサルデザイン研究会からは、「みんなにやさしいKYOTOユニバーサルデザイン ガイドマップ」四条通界隈（西院、大宮、烏丸、河原町）編の紹介がされました。

マップに掲載する情報の調査からデザインまで、すべて研究会メンバーと顧問教員の手で進めた事で、完成まで時間との戦いとのことでしたが、無事にフォーラム当日に完成品が到着し、作成に携わった学生自らによってお披露目をすることができました。

平成29年度は、京都駅周辺のUDガイドマップ作成にも取り組む予定とのことです。

「みんなにやさしいKYOTOユニバーサルデザイン ガイドマップ」は、京都市観光MICE推進室の協力で、四条界隈の観光案内所や京都駅観光案内所に配架されることになりました。

★5月27日には、京楽ラクプロジェクト、NPO法人ALIZE、京都光華女子大・短大ユニバーサル研究会が連携して、四条通りでUDガイドマップの街頭配布をおこないます。



今後も改訂版を発行するために、スポンサーを募集しているとのことです。

協力者

杉崎和久さん

（法政大学大学院 公共政策研究科教授，
元・（公財）京都市景観・まちづくりセンターまちづくり
コーディネーター他）
専門分野は都市計画、まちづくり、市民参加

授業でもユニバーサルデザインを扱う等、関東・京都両方のまちづくり事例にも詳しい。



【お宝バンク取組提案者の連携編】

まちづくり・お宝バンク取組提案者の「私たちがやります！」と「歓迎します」をつないでできた市民のための交流スペースづくりの報告です。

「ことしよ」新設に向けて連携

お宝No.90 居場所いいばしよ

お勧めしたい本をより多くの人に読んでもらう。「古都」+「図書」=「ことしよ」

「ことしよ」は、京都市未来まちづくり100人委員会からスタートしたチーム「居場所いいばしよ」の活動で、幅広い層の利用者が訪れ誰もが自由に手に取る事ができる交流スペース等にお勧めの本を置き、本を通して交流してもらうことを目的としています。



今回は、左京東部いきいき市民活動センター（東部いきセン）内にある空きスペースの活用のために、「ことしよ」の新設に向けたマッチングをおこないました。現在、東部いきセンの前身である「錦林ふれあいまなび館」等から引き継いだ図書が1,000冊ほどあるため、まずはその取扱いについての調査をした後、蔵書確認をすすめ、来年度の「ことしよ」新設を目指して連携していくことになりました。

東部いきセンにて。
待合スペース兼物置のように使われているスペースを、「ことしよ」で本を通して交流スペースに活用することを目指します。
課題は、「冬寒く・夏暑い」というこのスペースをどう快適にしつらえるか。

NPO法人劇研（杉山さん：東部いきいき市民活動センター長）

舞台芸術を中心とする芸術・文化の振興を主なミッションとするNPO法人劇研の杉山さんがセンター長を務める左京東部いきいき市民活動センターの空きスペース活用と連動させるべく、「ことしよ」設置に向けてデッドスペースを市民にもっと活用していただけるように整備をしていただけたとのことでした。



【みんなごとのまちづくり推進事業イベントで連携編】

“みんなごと”のまちづくり推進事業「交流会3.0」にて、まちとしごと総合研究所とお宝バンク取組提案者との連携コーディネートをおこなった報告です。

“みんなごと”のまちづくり推進事業 まちづくり・お宝バンク取組提案連携企画

お宝No.222 フードバンク京都

「もったいない」から「ありがとう」へ～家庭からできる寄附のカチ～

フード・ドライブとは…家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄りそれらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動。



平成29年1月28日開催の、みんなごとのまちづくり推進事業「交流会3.0」にて、まちとしごと総合研究所と連携し、会場内でフードドライブを実施しました。

参加者のみなさんが持ち寄った食品は、フードバンク京都に回収していただき、食料の緊急支援が必要な方々へ届けられます。今回の交流会で、はじめて「フードドライブ」を知った参加者が、自身のイベントでもフードドライブに挑戦するという輪が広がる可能性に期待します。

「みんなごと」のまちづくり推進事業 まちづくり・お宝バンク取組提案連携企画
交流会3.0×フードバンク京都 連携企画
取組提案：家庭からできる寄附のカチ「フードドライブ」を実施しませんか？

「もったいない」から
フードドライブ
「ありがとう」へ

フードドライブとは？
フードドライブとは、ご家庭で余っている食べ物を学校や職場などみんなで少しずつ持ち寄り、これを必要とされている福祉施設や生活困窮者の方へ無償で配布する活動のことをいいます。1人1人の寄附が食品のエコ活動と、食を必要とされる方へのサポートへと繋がります。

ご寄附いただきたい食品

- * 乾物（お米・麺類・小麦等）
- * 保存食品（缶詰・瓶詰・カップ麺等）
- * インスタント食品・レトルト食品等
- * 飲料（ジュース・コーヒー・お茶等）
- * 調味料（醤油・ソース・麺つゆ等）

注意していただきたい事

- ①未開封であるもの
- ②常温で保存可能なもの
- ③破損で中身が出ていないもの
- ④賞味期限が明記されているもの
- ⑤3カ月以上賞味期限があるもの

Facebookページ
フードバンク京都

「みんなごと」のまちづくり推進事業「交流会3.0」にて、まちとしごと総合研究所とお宝バンク取組提案者との連携コーディネートをおこなった報告です。